

事業所職員向け

児童発達支援自己評価表

この児童発達支援自己評価表は、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の職員の方に、事業所の自己評価をしていただくものです。
「はい」、「いいえ」のどちらかに「○」を記入するとともに、「工夫している点」、「課題や改善すべき点」等について記入してください。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	8		・活動内容や年齢発達に応じて別室で行うなどしている。
	2	職員の配置数は適切であるか	8		・年齢や、活動内容、状況に合わせて職員配置を行っている。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	8		・壁に手順表を貼ったり、タイムスケジュールを分かりやすく書いたりして、視覚支援を行っている。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	8		・毎日の清掃で子どもたちが気持ちよく過ごしやすい環境になっている。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	8		
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	7	1	・行事の感想や次年度の意向や要望についてアンケートを実施し、保護者の方からの意見を大切にし、改善に努めている。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	5	3	・公開していることを把握できていない職員がいた為、会議にて周知した。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	5		・現在第三者による外部評価は行っていないが、今後より良い事業所を目指し、外部評価も考えている。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	8		・週に1回30分～1時間の本部主催のオンラインでの研修を受講している。
適切な支援	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	8		
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	4	3	・本部からのアセスメントツールはあるが活用できていないので今後活用してきた。また、活用しやすいアセスメントツールを必要があれば作成し適宜利用していく。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	8		
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	8		・共有することで、共通理解していると感じている。

へ 援 の 提 供	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	8		
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	8	・プログラムの内容を調整する中で同じ事の繰り返しにならないように、小集団の遊びや感覚を使った遊びも取り入れている。	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成しているか	8	・個別の支援、排泄などパレットで過ごす中で可能なことについては今後も行ってきたい。	
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	8	・朝礼でその日の支援内容、役割分担の共有を行っている。	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	8	・終礼でその日の子どもたちの共有を行っている。 ・支援後MTGで共有をしている事で翌日以降の支援に役立っていると感じる。	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	8	・終礼で話し合ったことを記録に残している。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	8		
	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	8	・児発管がサービス担当者会議に出席している。	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	8	・サービス担当者会議にて情報共有を行っている。 ・記録にも残してある為、現状を踏まえた上で支援が出来る。	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	8	・医療的ケア児、現在利用していない。	
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	8		
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	8	・園との情報共有を行い、支援に生かしている。	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	4	2	・年長児が少なかった為、そのようなケースがまだない。今後そのような機会があれば、積極的に行ってきたい。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	8		・発達支援センターの研修を受ける機会があり今後も連携が取れるようにしていきたい。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	6	2	・課外活動での外出の機会を設けていて、その場に応じて関わる機会はあるが、現状として平日課外活動を行うことは厳しいとの意見が出た。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	3	4	・事業所として参加は行っていないが、機会があれば今後参加していきたい。
30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	8		・送迎時や保護者との面談、利用時の連絡帳等でお子さんの状況を把握している。	

保護者への説明責任等	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っているか	3	3	・相談、アドバイスは行っているが、ペアレントトレーニングは行っていない。今後ペアレントトレーニングの研修を受け資格を取得し役立てていきたい。
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	8		・契約時等に説明を行っている。また必要な保護者の方には随時説明を行っている。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	8		・モニタリングの際には、保護者のご要望を大切にしながら、現状の課題やねらい、支援内容を丁寧に説明を行っている。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	8		・保護者から相談があった際はその都度助言を行っている。 ・送迎時等でコミュニケーションを取ることで信頼関係の構築に繋がるよう関わっている。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	8		・遊ぼう会を実施して、利用児の保護者同士の関わりが見られたので、今後もそのような機会を作っていきたい。
	36	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	8		・相談の申し入れがあった場合には、迅速に対応している。また、
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	8		・インスタグラム、ブログなど利用して、活動の様子を発信している。
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	8		・個人情報は施錠されたキャビネットに保管している。 ・契約時には個人情報利用にあたっての同意書をいただいている。
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	8		・絵カードやジェスチャーを使いながら子どもたちと意思疎通を行う等の配慮を行っている。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	2	4	・行事など行っていないが、今後挨拶や言葉を交わして地域に溶け込んだ事業所を目指していきたい。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	8		・毎月防災訓練、マニュアルの作成等実施出来ている。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	8		・月に1回、避難訓練を実施している。曜日により参加した事がある、ないの偏りがあるので、今後避難訓練週間など設けていく予定。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	8		・てんかん発作発生時のマニュアルを提示し、すぐに確認できるようにしている。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	6	2	・アレルギー対応が必要な児童は現在いない今後必要になった際、保護者との共有も大切にしていきたい。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	8		・ヒヤリハットがあった時には終礼時に周知し、再発防止に努めている。また月ごとに集計し、場所、時間帯など細かく統計をとり未然に防ぐ事が出来るよう心がけている。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	8		・年に2回虐待防止委員会を開催し、2か月に1回自己評価を行っている。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	8		・契約時に危険が伴う時には身体拘束を行う可能性があることを説明し承諾をいただいている。また計画書にも記載している。